

「教育の多様性」の会 勉強会へのお誘い

# NPO 立学校の 可能性について

市民のつくる学校は認められるのでしょうか

今日、「特区」の枠組みの中で、「NPO学校」の教育実践をどこまで認めるかが議論されています。その動きは、市民が自ら教育をつくり、選ぶ権利につながるのでしょうか？ 子どもたちの「教育への権利」が実現されるということなのでしょうか。

現状では、「NPO立学校」が認められるのは、「不登校の子どもを対象」で「資金を自分でまかなえる」場合に限るとされます。しかし、「不登校の学校」なんてあっていいのでしょうか？ また、かりにあったとして、「不登校の学校」の子どもだけ自分で教育費を負担せよ、なんて許されることでしょうか？

教育の多様性の会では、これらの点について国政・行政の場で関わっておられる方々と、実際にNPOなどの立場から教育実践に携わっている方々の間で話し合う会をもうけることになりました。

急な日程ではありますが、ぜひお集まりください。

2003年3月11日(火) 3:00~5:00pm

**憲政記念館 講堂** (定員 500名)

千代田区永田町 1-1-1 電話：03-3581-1651

(営団有楽町線・南北線・半蔵門線「永田町」駅 または丸の内線・千代田線「国会議事堂」駅、銀座線・南北線「溜池山王」駅下車)

**参加費：** 若干のカンパをお願いします。

**パネリスト予定者：** 文部科学省担当者  
内閣府教育特区担当者

教育の自由化を訴える国会議員 ほか

市民のつくる学校に関心のある方なら、どなたでもご参加ください。  
事前のお申し込みは不要です。

\*\* この勉強会の呼びかけ人である「教育の多様性の会」は、昨年2月に数人の有志によって始まった会です。現在までに、全国のフリースクール、シュタイナー教育、ホームスクーリング、チャータースクール、ろう者の手話学校など、多様なバックグラウンドから参加をえて、300人近くのメンバーがメーリングリスト上で意見を交換しています。

お問合せ先：「教育の多様性」の会 FAX 03(4512)8201  
メール:<owner-diversity@freeml.com>

URL <http://www.forum3.com/projects/alt/event/20030311/npo02.htm>